

金貨本位の前途

銀行を廢すか、其一を^{ハハハ}断ぜざる可らずと雖も通貨の收縮は目下經濟社會の變態を救ふには自から必要あるも之を急激にすれば物價の暴落を來して不測の金を招くの患あるを如何せん公債賣出策は米國政府にて金貨準備と充實せしむるが爲めに實行したる所なれども日本銀行をして之を行はしむれば五分利の公債を廢價に賣出すが如き指策を再びするやも保し難し而して準備の不足を補償するの責を免かれんが爲め制限外發行を行ふが如きは發換の精神に背くものにして斷じて行ふ可らず且培塿合に當り日本銀行は如何にして準備の不足を足して發換制度の安全を保たんとするや幣制改革に伴ふて生ずる第一の困難は差當り此始末にふそあれ或は處置宜しきを得て困難を免かれたりとするも銀價の下落今日の如くなるときは銀貨處分の爲めに國庫は損失を被むらざるを得ず或は引換を終りたる銀貨を補助貨に改鑄すれば相當の利益を得るが如くなれど之を以て銀價下落より生ずる損失を蔽はんとするは不條理の甚だしきのみならず雖く補助貨に改鑄するは事情の許さる所なり左ればとて國庫に貯蓄し置くは財政困難の場合に非常の指策と云はざるを得ず然ばば地金として賣却せんか却て銀價の下落を甚だしうするのみ或は又臺灣に限り金貨本位を行はざるひととして内地に於て處分に窮する銀貨を同編に廻送するが如き處分の一法としては自から妙なるが如くなれども金銀の比價に變動を生じたる今日之を行へば徒に内地の金貨準備を減少するのみにして到底行ふ可らず孰れにしても國庫の損失は免かる可らずと知る可し

東京の奇觀



勧き盡る絶えず貨物の集配を爲し得るものなり然るに僅か三尺の浚渫を爲さずして舟楫の利を半ばに止め置くは市民損益の上に於て其結果如何なる可きか三歳の児ど雖も恐く其愚を笑ふ可し今東京市部内及び周囲郡部の小漁船にして東京へ出入し若くは品川沖を往來する小形船舶の隻數を聞くに其大數は左の如し

に排斥せられたる墨鏡を以て通貨の不足を補ふや難なれば、金銀の比價にして今日の如くなる以上は海外流通の銀貨は悉々歸來して内國流通の分と共に金貨を驅逐するものと覺悟せざる可らず而して日本銀行は果して之に應ずる足尾の可き充分の準備あるやと云ふに進備の額は詳細に知る詔はされ共前記の引換の爲めに六千五百萬圓を失ふなどすれば殘る所は少額に過ぎざる可し然る銀行には巨額の銀貨を蓄ふるも十月以後は兌換銀行券倍額に於て銀貨及び銀塊は引換準備總額の四分の一を超過するを得ざるの定めなれば金貨準備の減少したる場合に當り政府に於て銀貨の引換に應ずれ候事も力も然らざるに於て成程子を引上げて兌換券の準備を謀るか、公債を海外に賣出にて金貨を貯蔵するか又は不足したる準備の種類を危かれルとして開港外

○ 東京の市政 (二十一)

河川の浚渫と東京灣の築港
東京の横川橋梁の不始末は吾諸連斷なれども其改良は
下水問題に相關聯するものあるが故に先づ下水の問題
を擧げしる後に非ざれば横川の不始末も之と改良す
る間以てなしむいふものあり然れども實際に於ては社
會主義の發達其運力甚しきが爲め甲を先きにし

勧め盡夜絶えず貨物の集配を爲し得るものなり然るに僅か三尺の浚渫を爲さずして舟楫の利を半ばに止め置くは市民損益の上に於て其結果如何なる可きか三歳の児も雖も恐く其愚を笑ふ可し今東京市部内及び周囲郡都の小漁船にして東京へ出入し若くは品川沖を往來する小形船舶の隻數を聞くに其大數は左の如し

埠	市	郡
横濱	一〇四	
五十石未満	一三九	
五、八〇四		
	一三、一〇一	
		一

東京の河川が尙ほ三尺深からざると否とは以上の諸船舶として其価値を二倍せしむるか若くは半減せしむるかの問題にして尙ほ陸上の道路を完全に賄賄すれば其車輛の価値を二倍にも三倍にも増さし得ると同様の問題なり或みに市中の河川埠起長十餘里とのとみろと今日の間に存し置けば開港西の時のみ即ち盡夜絶罔に限